

「まちかどミーティング(地域巡回)」概要 (ブナの森ふれあい伝承館)

日時・場所 平成 21 年 7 月 27 日(月) 午後 7 時 ~ 8 時 26 分 ブナの森ふれあい伝承館
市民参加者数 31 人
市側出席者 市長・企画部長・総合政策課長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査
二ツ井地域局長・財政課財政係主査・二ツ井地域局市民福祉課長補佐

市長市政報告 (19:00 ~ 19:35) ・「協働のまちづくり」と総合計画「“わ”のまち能代」の意義
・「リサイクルポート」と「県北エコタウン構想」
・「バイオマスタウン構想」と「農業政策」
・市役所変革における「笑顔」と「あいさつ」・「感謝と思いやり」

市民との対話 (19:35 ~ 20:25) Q 誘致企業「杏林製薬」の従業員と接する機会がない。どのような状況か？
それから、昔からの地元企業で「秋木関連企業」があるが、市はどのようにとらえているか？

A 「杏林製薬」は栃木工場を閉めて能代工場へシフトし、従業員も移り住んでいる。地元高校生の採用も増やし、「風の松原」清掃等ボランティア活動にも参加する等、市民交流に努めている。ただ、研究部門が能代になく、将来はそれも配置し、「白神の微生物」等の研究開発にも期待している。
「秋木関連企業」は、現在も市図書館への金銭寄付や、「バイオマス発電」の電気を購入等積極的に協力していただき、ありがたく感じている。

Q 「雇用対策」にスピードアップを図り、早い実現を望みたい。

「社保病院」の存続もだが、「組合病院」にも財政問題があると聞く。「雇用の場」確保としても、二大病院の将来的な存続に引き続き努力を。

A 「雇用対策」等は早い実現に向けて努力したい。

「病院存続」だが、「社保病院」は、全国では比較的経営はいい方で、「組合病院」でも黒字で推移している。市立病院がなく、地域の中核を担う医療機関として「医師会病院」を含めた三病院は、今後も支援していきたい。

検討内容...今のところ廃止されない見込みだが、雇用の場の確保としても存続は必要なので、関係各課と協力していく。

Q 富根にはかつて、駅・支所・農協・小・中学校等ほとんどの機能があったが、今では小学校もなく診療所閉鎖の話も聞こえる。支所も古く、廃校舎の利活用も含めてどのように考えているか。

A 現在地域の意見も伺って検討している。「出張所・診療所の校舎への移転を」との意見もあるが、「耐震診断」が必要で、かなりの補強工事が必要と見込まれる。

「診療所」の存廃は、利用者数や地域の意見も聞いての判断となる。「出張所」も、利用者数が減り、他への窓口設置等も含めて、今後地域と議論していきたい。

検討内容...旧富根小は、基本的には現状で利活用を図る方針。地元とさらに協議のうえ決定したい。

Q 市老人クラブは、分裂状態で、感情が先走り話にならない。融和が必要。市は「調整委員会」で 23 年度までの解決を図ると聞くが、今年中の解決ができないか。それが行政の責任と思うが。

A 会員は、各種行事等を楽しみにしており、停滞を避けるため、早期の解決

を図りたい。現在、二ツ井に調整案を投げかけ、近い内に話し合いを持ちたい。その後、能代とも話し合い、互いに譲り合って大人の対応を望みたい。

検討内容...合併継続への調整を継続し、問題解決に努めている。

昨年度は分裂開催した二ツ井地域松寿大学を、今年度は市直営で実施し、全17単位老人クラブが協力する動き。今後も調整を進め、問題解決に努めたい。

Q 投票所は「旧富根保育園」だが、高齢者から「遠くなって困難」の声もある。元の「出張所」に戻すか、公選法の範囲内で「郵便投票」等できないか。

A 「出張所」使用当時、駐車場が狭く路上駐車が多い。投票場内が狭く複数選挙では記載の秘密保持が困難。入口から場内への段差が大きく高齢者に不向き等問題点があった。状況は変わっていない、現行のままをしたい。

「郵便投票」には公選法上の条件があり、単に「高齢で歩行困難」だけでは対象とならない。

Q この地は「水害」が多い。各地の圃場整備に伴い、想定外の被害もある。国に働きかけて、河川敷の雑木や雑草の排除をお願いできないか。

A 19年水害の後、国で85億円以上を投じて河川改修にかかり、ほとんど二ツ井周辺の堤防強化・河道掘削や雑木撤去に投資。先日の豪雨ではその効果があったと考える。今後、きみまち阪下や麻生等への堤防整備にかかるが、今後も国にお願いしていきたい。

Q 国保税の上昇は、徴収率が低下し、国交付金のペナルティを受けたことも一因ではないか。口座振替だけでは対応できない。かつての「納税組合」を組織・育成することも必要では。

A 国保税に関しては、様々な意見がある。国のペナルティをクリアできるように努力するので理解を。

Q 歩道部分のカー塗装が進み、交通安全上意義があるが、側溝蓋の上等に物を置く状況をよく見る。市から商工会・商店会に改善を働きかけてほしい。

A そのとおりだと思う。全ての撤去は困難だと思うが、歩行に支障のないよう商工会や商店会に相談したい。

検討内容...商工会及・商店会に対し、会議等の際に、支障物の撤去を会員に伝えてもらうことを要請する。

Q 小学校校舎・保育園の利活用について、管轄の枠にとらわれず、農業団体や建築団体等も利用できるように改革してほしい。

A 以前は、目的外使用の規制が強かったが、現在は国でも公共施設の活用は規制緩和の方向であり、できるだけ希望に添うようにしていきたい。

Q 当地でも独居高齢者が増え、町内会で定期見回り等実施しているが、それでも死後に発見された例がある。そんな活動として、市として具体的な例があるか。また、市でそんな活動への支援等考えているか。

A 「見守り活動」は、各自治会等での自発的な活動は聞くが、市主体では例はない。私案だが、郵便局・新聞配達等、毎日各家々を訪問する業種等と協定を結び、異変を感じた場合は連絡をもらう取組等を考えたい。

検討内容...二ツ井地域包括支援センター職員や社会福祉協議会在宅福祉相談員の定期巡回を継続し、民生児童委員の協力を得て、独居の状況把握と安否確認に努めたい。

また、平成 22 年度から災害時要援護者避難支援プランの個別計画策定を予定しており、要援護者の実態を民生委員・自治会が中心となって把握し、安否確認を兼ねた見回りや避難訓練等に結びつけたい。

さらに、医療・福祉・介護等関係機関・団体等、郵便、新聞の配達員等の事業従事者等の協力を得ながら、地域包括支援センターを中心とした地域ケア体制の整備を進めたい。

Q 「地籍調査」を外部発注ではなく直営でやっていると聞く。時間もかかると思うので外部委託したらどうか。

A 「地籍調査」は、測量は地元の業者に依頼するも、現状のペースでは 50 年以上かかり、今年度中に地籍調査の方向性等を検討する。国・県・市でも予算がなく厳しいが、早急に終了できるよう努力したい。

検討内容...現在も、測量・図面作成等は外部委託している。委託業務の範囲拡大は、ある程度は可能だが、限度がある。担当職員や事業量の大幅増は財政上厳しいが、できるだけ早いペースで事業を進められるよう努力する。